

# 近畿中国局フォレスターNEWS

## 森林共同施業団地の現地打合せを実施



国有林搬出間伐実行状況及び木材集積場作設箇所の確認



国有林森林作業道と森林整備センタートラック道の接続ポイント等の確認

三重森林管理署は、7月25日に、森林整備センター津水源林整備事務所(三重県)、岐阜県森林公社(岐阜県)、海津市太田自治会(岐阜県)と「悟入谷(ごにゅうだに)・古野裏山(このうらやま)地域森林共同施業団地」設定に関する協定を締結しました。施業団地内の国有林は、悟入谷国有林と古野裏山国有林(三重県いなべ市・桑名市)です。

この森林共同施業団地の取組として、森林整備センター等の三重県側関係者と10月4日に、悟入谷国有林で、平成28年度実行箇所の状況とそれを踏まえた今後の計画のすり合わせについて、現地確認及び打合せを実施しました。当日は、国有林の①搬出間伐の実行状況、②現行の作設済み森林作業道の状況、③今年度中に作設予定の森林作業道の線形確認、④木材集積場の作設予定並びに森林整備センター分収造林契約地の①現行のトラック道作設状況、②今後のトラック道作設予定路線の踏査及び双方の平成29年度事業計画の確認を行うとともに、作設する木材集積場の共同利用等について意見交換を実施しました。この打合せにより、国有林の森林作業道と森林整備センターのトラック道の利用目的と規格に違いがあるため、共同的に利用する路網の作設には縦断勾配等に留意する必要があることを確認しました。

三重森林管理署は、今後、岐阜県側の関係者とも現地確認及び打合せを行い、団地内の各事業が効率的で円滑に実施できるよう、関係者との疎通を積極的に進めていきます。

## コ ンテナ苗の普及に向けた現地検討会を開催(近畿中国森林管理局)

近畿中国森林管理局では、10月13日に岡山県の勝田郡奈義町で、14日に同県新見市で、コンテナ苗の民有林への普及を図るために現地検討会を開催しました。2日間で、同局管内の林木育種センター、森林整備センター、府県、府県研究機関、市町村、森林組合、種苗組合等から、延べ約90名の参加がありました。

1日目は、同局次長の挨拶から始まり、技術普及課長から「普及に向けた取組の背景とねらい」、奈義町にある豊並樹苗生産組合の組合長から「コンテナ苗生産の工夫と現状」について情報提供や実務的なノウハウを含めた説明がありました。

その後、コンテナ苗の苗畑を視察し、意見交換では、コンテナ苗普及の考え方やコンテナ苗の価格等に関する意見・質問がありました。

2日目は、岡山県新見市にある三光山国有林で開催しました。

三光山国有林では、森林総合研究所関西支所と共同でヒノキコンテナ苗の試験地を設定しています。まず、同研究所関西支所から共同試験の目的・概要の説明、同局の森林技術・支援センターから、苗木の成長量や発根状況の説明を行った後、試験地に移動して、コンテナ苗の成長量等の確認や無下刈区における下刈省略の可能性について検討しました。その後、同研究所関西支所からコンテナ苗のメリット及び課題等の説明があり、同局森林整備部長から、まとめの挨拶を行って検討会を終えました。近畿中国森林管理局では、引き続き試験成果の民有林等への普及・定着を推進していきます。(詳細は、当局のホームページをご参照ください。)



苗畑の視察・豊並樹苗園



コンテナ苗の説明・三光山国有林

## 林業専用道の現地検討会を開催（奈良県野迫川村）



1日目 林業専用道の説明



2日目 質疑応答、情報提供

10月24～25日、林業専用道の現地検討会を、奈良県林業振興課と奈良森林管理事務所の共催で開催しました。

2日間を通じて、奈良県、和歌山県、野迫川村、高野町、両県内の森林組合、両県内の水源林整備事務所、和歌山森林管理署から、延べ75名の参加がありました。1日目は、野迫川村にある桧股国有林の桧股林業専用道を視察し、奈良所から、路線の選定方法、土工方法、構造物の設置、排水施設等について説明しました。説明後、コンクリート土のう積み工を選択した理由や残土処理方法等の工種について質問があり、コンクリート型枠工と総合的に比較して採用したこと、残土処理場は2箇所設けており、木材集積場として利用する等の回答をしました。

2日目は、ホテルのせ川会議室で、引き続き質疑応答を行い、土木技術者の育成方法、調査設計方法についての質問があり、3年間の技術者研修等で育成、入札により外部委託である等の回答をしました。また、奈良所から、森林法改正に伴う鳥獣害防止森林区域の設定、間伐等事業の民間競争入札による複数年契約、野迫川村におけるシカの捕獲事業等の情報提供を行いました。奈良県からは、スイスに学ぶ森林管理制度と人材育成（フォレスト・アカデミーの設立）についての情報提供が行われました。

参加者から、地域全体の路網整備を進めるとともに、急傾斜地での路網系と架線系との組み合わせや地域で連携したシカの捕獲対策が必要との感想が寄せられました。奈良所は、今後も奈良県と連携して地域に貢献する取組を推進していきます。

## 白山市森林林業振興推進会議の現地検討会を実施（石川県）

10月26日、中部森林管理局飛騨森林管理署管内の阿多粕国有林（岐阜県高山市）において、白山市森林林業振興推進会議が、現地検討会を実施しました。当日は、同会議メンバーの白山市、石川県及び石川森林管理署に加え、参加を呼び掛けた白山市内の林業事業者等3社も加わり、総勢14名が参加しました。

石川県内の民有林においては、まだ列状間伐がほとんど行われていないことから、列状間伐に関する知見を得るために、今回の技術検討会開催となったものです。

現地では、飛騨森林管理署からの説明があり、説明後、生産性、機械のレンタル料、材の処分先、豪雪地帯での施業等、多くの話題について意見交換が行われ、有意義な検討会となりました。

石川署は、引き続き、同会議を通じて、石川県と連携した白山市への支援を行っていきます。

※白山市森林林業振興推進会議とは、石川県及び石川森林管理署のフォレスター等による市町村支援の一環として、白山市への支援を目的に設置した機関であり、今年度の重点取組事項を「白山市森林整備計画の策定」としています。

（平成28年度8月号をご参照ください。）



飛騨署森林技術指導官からの説明



列状間伐実施箇所

林野庁

近畿中国森林管理局

技術普及課



国民の森林・国有林

TEL : 06-6881-3524 FAX : 06-6881-2055

URL : <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

### 編集後記

この頃の気候は、暖かい日になったり寒い日になったりと気温の変動が大きくて、体調を崩しがちになっています。体調管理に気を付けていただきたいと思います。と、かく言う私も風邪を引いてしまいました。今年の風邪は、咳が続くようです。

手洗い、うがいの励行と栄養と休養が必要です。咳エチケットのマスクもお忘れないように。